

北山結莉先生書き下ろし
ショートストーリー

アダツア
癒し枕カバー特典

北山結莉

Yuri Kishitani
Illustration by RIV



精霊
幻想記
[FANTASY NOVEL]
[FANTASY NOVEL]

朝の誘惑

早朝、場所は岩の家。いつかのある日のことだ。リオは自室のベッドで一人、穏やかに寝息を立てながら眠りに就いていた。すると……。

突然、リオが眠るベッドに、一人の少女が潜り込む。

正確には、布団の中で一人の少女がいきなり出現した。彼女の正体はアイシア。リオと契約している人型精霊の少女である。

「……………」

アイシアはリオのすぐ真横で実体化して横になると、そのまま至近距離からじっとリオの寝顔を見つめ始めた。普段は無表情であることが多い彼女だが、その口許は嬉しそうにほころんでいるようにも見える。

「ん……………」

いくら就寝中であるとはいえ、ベッドの中に人が入ってくれば、それに気づかないリオではない。とはいえ身の危険を感じたわけではないのか、臆気に意識を覚醒させながら目を開けた。

すると当然、まずはアイシアの顔が視界に映る。歴史に名を残すような芸術家が生涯を賭しても表現しきれないであろう端正な面持ちを数十センチの距離で目の当た

みとどまり、アイシアに視線を向けようとすらしめない。

「どうしたの?」

アイシアは不思議そうに首を傾げ、寝たまま身体をずらしてリオに近づこうとする。すると、ただでさえ薄く、軽い掛け布団の生地がズレそうになった。リオの視界には映っていないが、衣擦れの音で何が起きようとしているのかはおおよそ理解したらしい。

「ア、アイシア!」

リオは慌てて名前を呼んで、アイシアの動きを制す。

「何?」

「服、着ていないよね?」

「……………」

アイシアは横向きに寝たまま自分の胴体に視線を向けてから、あっさりと首肯した。

「また寝惚けて入ってきちゃった?」

リオは咎めるのではなく、なんとも困ったふうに、だが優しい声色で確認する。

「ううん、朝の鍛錬までまだ少し時間があるし、それまで春人と一緒にいたくて来た」

と、アイシアはリオの寝室に入ってきた理由を告げる。

「そう、なんだ。今日は早いね。よく眠れた?」

「うん、昨日は早く眠ったから。よく眠れた」

りにし、リオはドキリと身体を震わせた。

「おはよう、春人」

アイシアはよりいっそう表情を柔らかくして、リオに朝の挨拶を告げる。それから、しばしの間を空けて――、

「……………」おはよう、アイシア

驚いていたリオの硬直も解け、脱力して言葉を返す。リオは年頃の少年だし、アイシアだって実年齢はわかっていないが見た目はまごうことなく年頃の少女のそれである。

妙な間違いが起こらないようにと、一緒に部屋では眠らないと取り決めてあるのだが、アイシアが寝惚けてリオの布団に入ってくるのはよくあることだった。ただ――、

「つ……………!」

少し視線を下げたことで、リオは再びギョツと硬直した。アイシアが何も服を着ていないであろうことが窺えたからだ。掛け布団として使っている薄い生地は、彼女の胸元から腰にかけての胴体を隠す程度にしか覆われていない。

女性的で柔らかい肉体のラインはそのまま手で触れられるほどくつきりと浮き出っていて、染み一つない純白の肌が蠱惑的に露出している。その魅力たるや、健全な紳士でさえも野生をむき出しにしてギュツと抱きしめたい衝動に駆られることだろう。だが、リオは鋼の理性で踏

「……………」そっか」

もうすぐ朝の訓練の時間ということとは、もう起きていてもおかしくない時間ということだ。一緒に寝るのではなく、一緒にいるのなら問題ないとも思ったのかもしれない。いずれにせよ、リオの眠気はすっかり吹き飛んでいた。

いったい何から、どう話そうか? なんて、リオがとりとめのない会話をしながら、何とか平静を保って考える時間を稼いでいると――、

「朝の訓練まで、このまま一緒にいてもいい?」

アイシアが素直に頼んでくる。なんというかそれだけで、意図的に性的な誘惑をしているつもりは皆無なんだろうなというのが、よく伝わってきた。

そもそもそういった性知識がないからなのか、あるいは理解した上でリオに襲われるとは思っていないからなのか、あるいはリオになら襲われてもいいと思っっているのか、そこまではわからなかったけれど……。

いや、いずれにせよ、アイシアならば、リオのすることなどどんなことでも受け容れてしまつのかもしれない。

「お話、たくさんしよう?」

無自覚でリオを誘惑し、おねだりするアイシアなのであった。

NOT FOR SALE

© Vain Kuroyama



萌の図鑑

萌えキャラ・キャラクター
萌え図鑑



World Network
NOT FOR SALE



北山結莉
フョーストストーリー

北山結莉
フョーストストーリー
Fyost Story



萌え図鑑
女子想記

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100